

# 紫香樂宮と 甲賀の神仏

— 紫香樂宮・甲賀寺と甲賀の造形 —



2019年夏季特別展 II

7.27sat – 9.1sun

主催：MIHO MUSEUM、◆京都新聞

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、甲賀市、甲賀市教育委員会、  
湖南市、湖南省教育委員会、NHK 大津放送局、NHK 滋賀放送、  
エフエム京都、帝産湖南交通

Shigaraki Palace and the Gods  
and Buddhas of the Kōka Region

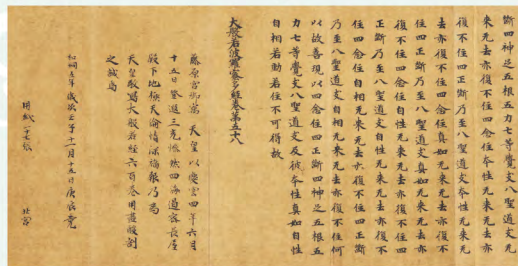
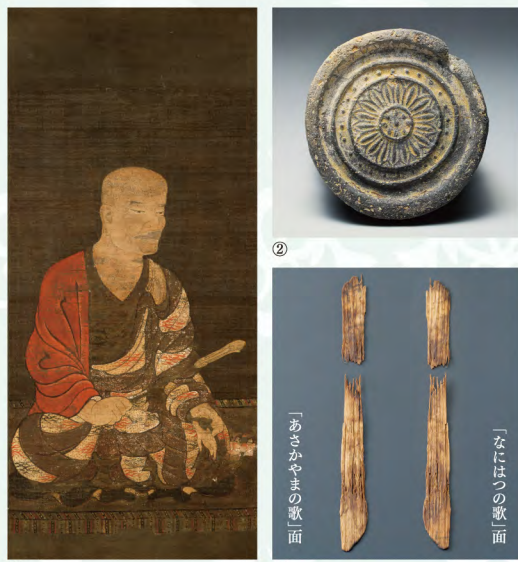


# 天平時代、聖武天皇はここ信楽に宮を遷し、大仏を造立しようと言われました

8世紀半ば、聖武天皇によって甲賀の地に紫香樂宮が造営され、大仏の造像が発願されました。しかし、紫香樂宮は短期のうちに造営が中止され、発願された大仏も、遷都された平城京で造営され、現在も多くの参詣者でにぎわう東大寺で再生されます。

紫香樂宮は、近年の発掘調査によって壮大な遺跡が確認され、井戸枠や釣鐘の型をはじめとする巨大な遺物や、7000点に及ぶ木簡や墨書土器、また大仏の造営にも関わる甲賀寺やその工房などが明らかになりつつあります。本展では、最新の成果にもとづいて、紫香樂宮に関連する各種の文化財をご覧ください。

短命に終わった紫香樂宮ですが、その後の石山寺の造営には、紫香樂宮から貴族の邸宅が移築されるなど、この宮に関わる活動の記録が残されています。そして甲賀の地では、神仏への信仰に関わる優れた造形が生み出され、豊かな宗教文化が築かれていきました。湖南市・善水寺や甲賀市・櫛野寺などの圧倒的な仏像群は、これらをよ物語っています。また、この地域には、天平文化の創造を担った良弁僧正が関与して造営された、石山寺や金勝寺などがあり、当時の最高の技術を持った工房で生み出された、写経や仏像、神像などの優れた文化財が伝えられています。これらについても本展で紐解いてゆきます。



①良弁僧正像 室町時代 15世紀 大津市・石山寺 ②単弁蓮華文軒丸瓦 奈良時代 8世紀 甲賀寺跡(史跡紫香樂宮跡のうち)出土 甲賀市教育委員会  
③歌木簡 奈良時代 8世紀 史跡紫香樂宮跡 宮町地区出土 甲賀市教育委員会  
④大般若経(巻末部分) 国宝 奈良時代 和銅5年(712) 甲賀市・常明寺



## 夏休み子どもスペシャル

初めての発見!  
紫香樂の宮跡から見つけた木簡には・・・なんと、『万葉集』と同じ歌が書かれてたんですって。

様々な災いが起こっていた日本を  
仏教によって救おうとした聖武天皇!

奈良の大仏さまより前に、  
こししがらきで、  
聖武天皇が計画した、  
もう一つの大仏さまのナゾ  
とは・・・!?

さあ、君もワークシートや  
スペシャル・プログラムで  
ナゾ解きに挑戦しよう!

詳しくはホームページで  
<http://miho.jp>

⑤十一面観音立像 重要文化財 平安時代 12世紀 甲賀市・飯道寺 ⑥女神坐像 甲賀市指定文化財 平安時代 11世紀 甲賀市・矢川神社 ⑦誕生釈迦仏立像 甲賀市指定文化財 奈良時代 8世紀 甲賀市・阿弥陀寺

■ イベント情報 詳細はホームページをご覧ください <http://miho.jp>

### シンポジウム

#### 「紫香樂宮と近江の宮」

— 最近の発掘成果から万葉の時代の近江を語る —

- 講師：松浦俊和氏 (元大津市歴史博物館館長)、鈴木良章氏 (甲賀市教育委員会)
- 司会：高梨純次 (公益財団法人秀明文化財団 参事)
- 日時：8月10日(土) 13:30 ~ 15:30
- 会場：南レクチャーホール ● 定員：100名
- 申込：当日美術館受付にて整理券配布 ● 参加費：無料(入館料要)

### ギャラリー・トーク

#### 特別展の展示解説ツアー

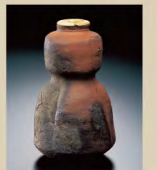
- 講師：高梨純次 (公益財団法人秀明文化財団 参事)
- 日時：8月3日(土)・24日(土) 13:00 ~ 14:00
- 定員：20名程度
- 申込：当日、12:50に美術館棟エントランスに集合
- 参加費：無料(入館料要)

### ■ 次回予告

秋季特別展  
2019年 9月14日(土)~12月15日(日)

#### The 備前

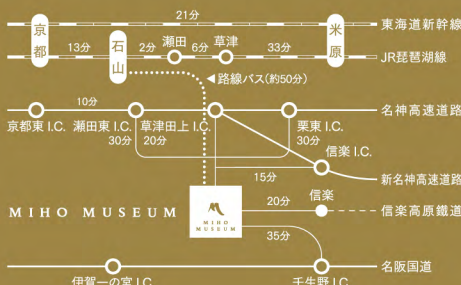
— 土と炎から生まれる造形美 —



瓢形茶入 桃山時代 16世紀  
MIHO MUSEUM

### アクセス

タクシー利用：JR「石山」・「瀬田」・「草津」各駅より35分、信楽高原鐵道「信楽駅」より20分  
高速道路利用：新名神「信楽I.C.」より15分、「草津田上I.C.」より20分、名神「栗東I.C.」/京滋バイパス「瀬田東I.C.」より各30分、名阪国道「壬生野I.C.」より35分



交通 ※バス時刻は変更されることがあります。

JR琵琶湖線 石山駅 発 ▶ 帝産バス「MIHO MUSEUM 行き」(所要時間50分)
平日 9:10 10:10 11:10 12:10 13:10
土日祝 9:10 9:50 10:10 11:10 12:10 13:10 14:10
MIHO MUSEUM 発 ▶ 「JR 石山駅 行き」
11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:07 17:14
信楽高原鐵道 信楽駅 発 ▶ 「田代・畑・陶芸の森ルート」(所要時間20分)
9:50 13:50
MIHO MUSEUM 発 ▶ 「信楽駅」方面
10:10 12:20 13:30 14:06

主催：MIHO MUSEUM、京都新聞  
後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、甲賀市、甲賀市教育委員会、湖南市、湖南市教育委員会、NHK 大津放送局、NHK 滋賀放送局、エフエム京都、帝産湖南交通

開館時間：午前10時~午後5時(入館は午後4時まで)  
休館日：月曜日、8/13日(火) ※8/12日(月・祝)は開館  
入館料：一般1,100円、高・大生800円、小・中生300円 (20名以上の団体は各200円割引)

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300  
Tel.(0748)82-3411 Fax.(0748)82-3414  
<http://miho.jp>(パソコン、携帯電話共通)

## MIHO MUSEUM

MIHO MUSEUM 友の会会員募集中

お問い合わせ：TEL. 0748-82-4788(直)または0748-82-3411(代) MIHO MUSEUM 友の会事務局まで